



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

2011年（平成23年）11月1日（業務企画部発行）

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: http://www.nbr.co.jp/

お知らせ 感染試験が新たに実施可能になりました！

試験施設：(株)日本バイオリサーチセンター 木曾三川試験室(レベル:P II)

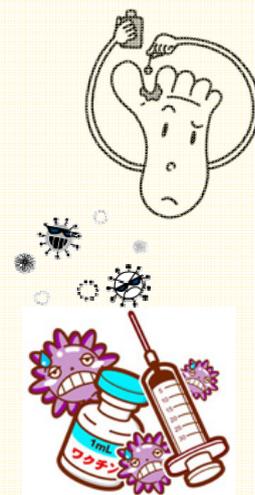
特長：感染試験専用の単独施設です。

信頼性基準の試験が実施可能です。

動物種	使用病原体	実施項目	検査項目
マウス	黄色ブドウ球菌	全身感染 局所感染(皮膚) 消化器感染	病変度観察 細菌学(ウイルス学)的検査
	MRSA		
	緑膿菌		
	多剤耐性緑膿菌		
	カンジダ		
	大腸菌		
	サルモネラ菌		
ラット	黄色ブドウ球菌	局所感染(皮膚)	病変度観察 細菌学(ウイルス学)的検査
	MRSA		
	緑膿菌		
	多剤耐性緑膿菌		
モルモット	白癬菌	皮膚感染	病変度観察 細菌学(ウイルス学)的検査
	カンジダ		
スナネズミ	ピロリ菌	消化器感染	病変度観察 細菌学(ウイルス学)的検査
ウサギ	黄色ブドウ球菌	角膜感染	病変度観察
	緑膿菌		
vitro	黄色ブドウ球菌	薬剤感受性	ELISA法 塗抹法
	MRSA		
	緑膿菌		
	多剤耐性緑膿菌		
	カンジダ		
	大腸菌		
	サルモネラ菌		
	インフルエンザウイルス		
白癬菌			



緑膿菌の電子顕微鏡写真：Wikipediaより



その他の病原体に関しては、ご相談ください。

佐部利 典彦のアートギャラリー(50)

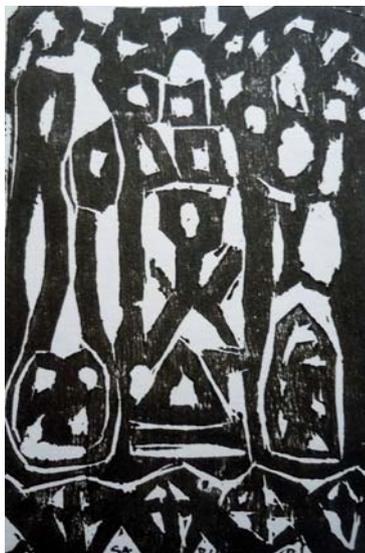
岐阜県出身(1969~)

作者の言葉

ひよんなことから版画をシリーズで制作しようということになりました。線は描いてから彫るとい作業を経ると、線の力が増すように感じます。そんな線を中心に、原始的な模様を描きました。

サイズ：はがきサイズ
木版画

タイトル：シンボリック ライン



『心の絆 - その50』 - 』

米、サツマイモ、サトイモ、林檎、柿と実りの秋を迎えています。豊作に感謝し、収穫の喜びを分かち合う山村に揚がる轍(のぼり)のはためきに心が和みます。その一方で、今年は山々の木の実が不作で、クマが人家まで餌を求めて出没しています。シカやイノシシが田畑の作物を食べ尽くし農民を困らせている地域が幾つもあります。山林や里山の荒廃、温暖化による植物分布の変化、森林伐採による観光開発など複合的な要因が人と動物との共存を妨げています。クマのプーさんやドナルドなど、ディズニーの世界にでてるようなメルヘンチックな現実には難しいにしても、何か共存の道はないのでしょうか。種の保存や継続は生物の基本であり、この絶滅は生態系の崩壊に繋がっていきます。この地球上に不要な生物の存在はなく、全ての生物が何らかの形で生態系の中で役割を果たしています。IT、医薬品、車などを開発してきた人間の英知は他生物の追随を許しません。当に生態系のピラミッドに立っています。勿論、生態系の必要性を学問的に理解できるのも人間だけです。人間には、今、待たなしに種の保存や生態系の死守を地球的レベルで見直す機にきています。キーワードは「分かち合えば足りる」です。

創刊号:「薬効薬理・安全性試験110番」開設しました！ 2007年10月がスタート号です。もう4年目ですね。

第2号:「食品開発展2007」開催！ ブースの出展と記念セミナープログラムのご案内です。

第3号: **冷え性**を動物モデルで再現！

第4号: **花粉症**モデルについて“動物モデルのご紹介”

第5号:「第81回日本薬理学会年会」ブースの出展および演題を発表いたします。

第6号:「**umu試験**」をご紹介します。

第7号:「第62回 日本栄養・食糧学会大会」に企業ブース展示いたします。

第8号: NBRでは、**Japanチャレンジプログラム**を応援サポートしています！

第9号: 第35回 日本トキシコロジー学会学術年會に企業ブース展示とポスター発表いたします。

第10号: **美白**に関する動物モデルをご紹介します。

第11号: 学会発表のお知らせです。「キーワードは、**ミニブタの膀胱機能、脳内モノアミン、パニック様行動**」

第12号:「第38回 日本神経精神医学会と食品開発展2008」においてブースの提示とポスター発表のご案内です。

第13号: “**うつ病**”動物モデルのご紹介

第14号: 今回は中枢試験でオファーの多い“**不安**”動物モデルの一つをご紹介します。

第15号: **マウスの生殖発生毒性試験**、全ステージで実施可能です。

第16号: NBRの**ミニブタ施設(GLP施設)にX線装置**を設置しました！

第17号:「第82回 日本薬理学会年会」に企業ブース展示いたします。

第18号: **筋肉疲労**について“動物モデルのご紹介”

第19号:「第63回 日本栄養・食糧学会大会」に企業ブース展示いたします。

第20号: **ダニ抗原**連続塗布による“**アトピー性皮膚炎**モデル”

第21号: NBRで実施可能な**刺激性試験**のご紹介

第22号: “**かゆみ**”動物モデルのご紹介

第23号: “**PLNA, LLNA**”についてのご紹介

第24号: **腎障害モデル**についてその1、その2

第25号: **不安**や**うつ**に関する行動試験

第26号: **統合失調症**に関する行動試験

第27号: 動物の**体脂肪量が測定**できるようになりました。—肥満モデルを用いた抗肥満薬の評価系—

第28号: ラット(マウス)の**関節炎リウマチ**モデルの紹介—コラーゲン誘発RAモデル—

第29号: **X線装置**を用いた評価について

第30号: **接触性皮膚炎**の動物モデルのご紹介

第31号: **疲労**動物モデルのご紹介

第32号: **ミニブタ特集号** —その1— **ミニブタQ&A**

第33号: **ミニブタ特集号** —その2— **日本最大のミニブタ専用GLP施設**

第34号: **ミニブタ特集号** —その3— **NBRのミニブタの歴史と最近の傾向**

第35号: **糖尿病(合併症)**—その1— **STZ糖尿病(合併症1)神経伝達速度**

第36号: **糖尿病(合併症)**—その1— **糖尿病性網膜症動物モデル**について

第37号: **ヌードマウス**を用いる**造腫瘍性試験**について

第38号: NBRの**医療機器試験** —その1— **機能性・効果確認試験**

第39号: NBRの**医療機器試験** —その2— **安全性試験**

第40号: NBRの**副作用**確認試験

第41号: **コンタクトレンズ**装用試験について

第42号: NBRの**嘔吐**確認試験

第43号: NBRの**医療機器試験** —**埋植試験**—

第44号: NBRの**経皮投与**試験について

第45号: **病態**モデル動物を用いた**副作用**確認試験

第46号: NBRの**スクリーニング毒性**試験

第47号: **ミニブタ**を用いた**アレルギー性皮膚炎**モデルの確立

第48号: シストメリー法を用いた**膀胱機能**評価

第49号: **胃排出低下**モデルや**過敏性腸症候群**モデルで薬効評価してみませんか？

第50号: **感染**試験が新たに実施可能になりました！！

